

25年10月29日.

日本包装管理士会関西支部

関西支部&W会共催「第16回合同研究会」の報告

開催日時 : 10月16日(木) 16:00~18:10

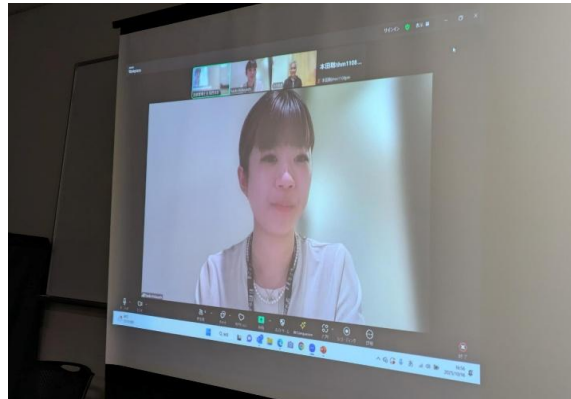
開催会場 : 難波市民学習センター 多目的アトリエ

- ・「第16回合同研究会」には会場23名、リモート3名 計26名の方に参加いただきました。
- ・三菱ガス化学(株)の小林講師から「サステナブルパッケージを志向したガスバリア性接着剤の開発とモノマテリアル包材への展開」のテーマで、マクシーブの特徴、基本コンセプト、期待用途例、化学構造、ラミネートフィルムでの性能・透明蒸着Fとの組み合わせ、環境配慮型パッケージ・モノマテリアル包材への適用とコート剤(トップコート、アンダーコート)についてご説明いただきました。
- ・岡講師から「包装の現場から食品安全審査員への転身」のテーマで、勤務されていた食品工場の閉鎖を機にキャリアチェンジされた体験談、ISOなどの第三者認証のしくみ、企業をよりよくなるFSSCの魅力、そして食品の安全に対する深い洞察まで、包装の現場を熟知されている講師ならではの視点からお話いただきました。参加者にとっても大変興味深くまた勇気づけられる内容でした。
- ・2テーマについて参加者から活発な質問が飛び交い、大いに盛り上がりしました。

◆開会の挨拶・W会遠藤代表



◆三菱ガス化学(株) 小林講師(リモート講演)



◆岡 講師



◆講演会場風景



◆交流会ご参加の皆様



合同研究会には、
関西支部会員、W会会員以外
に関西包装団体(技術士包装
物流会、日本食品包装協会、
日本包装コンサルタント協会)
からご参加いただきました。